

令和4年3月末で地域おこし協力隊の任期を終えた田中さんと中村さん。退任後も安芸高田市に住み、新しい暮らしの第一歩を踏み出します。お二人に任期中のこと、これからのことを聞きました。

**世界に誇れる神楽を
縁の下から支えたい**

在任期間中は市観光協会に所属し、道の駅「三矢の里あきたかた」の武者コンシェルジュとして多くのお客さまを迎え、さまざまなメディアにも登場して道の駅や市の魅力を発信してきた田中さん。3年目からは専門家並みの愛と知識を生かして、神楽振興に関わる事業の企画・実施にも努めてきました。

その中で田中さんが最も印象に残っているのが、神楽門前湯治村の定期公演で配られる資料のリニューアル。上演する演目のあらずじや登場人物を白黒で紹介していたパンフレットをカラーに刷新し、さらに誰にでも分かりやすい4コマ漫画を追加しました。「子どもから年配の方まで幅広く愛される神楽。以前から、難しく書かれて

いて神楽の魅力が伝わっていないと感じていました」と田中さん。カラーにすることで衣装の豪華さも伝わり、登場人物の善悪なども明記して、誰が読んでも分かりやすいパンフレットに仕上がっています。

**これまでの経験を生かして
町の商店に人を呼び込む**

地域おこし協力隊退任後は、美土里町の企業「(有)広島ワイエス」に就職し、地域の暮らしを支えている商店「ふれあい市」の営業を任されることになりました。「ここにお店があることを知らない地元の人も多い。まずは知ってもらって、地元の人と協力しながら面白いことをやっていきたい」。将来的には商店として営業しながら、市観光協会での経験を生かしてイベントやワークショップ、マルシェなどを

開催し、地域の情報発信の拠点にしたいと考えています。「外から人を呼び込めるドライブインのような場所を目指します」と目を輝かせる田中さん。

目標に向かってまず取り組むのは店舗のリニューアル。コンビニの機能を備えながら、地元で頑張っている方の商品をそろえることや、神楽をイメージできる空間で神楽のDVDを視聴できる部屋を作ったり、自社のオリジナル商品を開発したり。とにかくやりたいことが尽きません。「これを全て一人の力でやるのは無理なこと。地域のひとの信頼関係を築き、知恵やアドバイスをいただきながら、みんなで良いお店にしていけたら」。美土里町の新しいスポットとして生まれ変わる「ふれあい市」。これからどんなふうに進化していくのか期待が高まります。

令和4年3月退任

元地域おこし協力隊員

田中 快斗さん



**KENTARO
NAKAMURA**

令和4年3月退任

元地域おこし協力隊員

中村 健太郎さん

これまでなかった

新感覚のイベントを企画

前職では東広島市の道の駅で企画・広報を担当し、その経験を観光協会や新しい道の駅で生かそうと地域おこし協力隊に応募した中村さん。コロナ禍でなかなかイベントが開催できない中でも、「コスカレード」や「神楽門前湯治村」(コスプレイベント)など、市内外から人を呼び込むさまざまなイベントの企画・運営に取り組んできました。「施設の魅力を伝え、新しい層の集客につなげるにはどうしたら良いか、湯治村の皆さんと考え企画しました」と中村さんは話します。

**人と暮らしが主役になる
新しい価値観の観光へ**

イベントを通してたくさんの人と関わる中で見えてきたのが、新しい観光の形。これからは、名所や施設を巡る旅から、そこに暮らす人や暮らしに触れる旅の

ニーズが高まると感じています。

「今は観光ひとつとっても、心の満足度を求めている人が多くなっています。人生観を変えるような体験や出会いができる『アドベンチャーツーリズム』がこれからの主流になるはず。安芸高田市には人に紹介したくなる魅力的な暮らしをしている人がたくさんいます。それを知りたい人、関わりたい人をつなぐガイドをしてみたい」と話します。「クリエイティブなことをしている人は、工夫しながら暮らし、魅力的に輝いています。そういう人たちは分野も年齢も関係なくつながっています。その輪の中に入れた時には、これまで体験したことのないようなワクワクを感じるはず。そのワクワク感を届けたい」。中村さんはこれまで実際にボランティアで25回ほど里山の魅力を伝えるガイドを行ってきました。参加者はアーティストや大学教授、文化人、企業のCEO、大学生

などさまざま。その人が一番魅力的に感じるプランを本人の気持ちにならなっていく。オーダーメイドで作っています。

**地域の魅力を発信する
「小さな観光案内所」**

4月からは美土里町にある「OutdoorFunキャンプフィールド」に勤務。キャンプ好きな人を心から喜ばせることをモットーにして、経営者の下、仕事に対する姿勢や経営のことなど、いろいろなことを吸収したいと思えば決まりました。

また、4月には元商店の古民家に古本とギャラリーの店「Yoon堂」をオープン。安芸高田市など各地域で創作活動している人のアートやものづくり作品を紹介する展示会を開催しています。目指すのは、地域の魅力を直接伝える「小さな観光案内所」。人々が交流し、情報交換ができる場として運営を始めています。

